

第40回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子1回戦】 E 球場（倉吉市営球場） 第1試合

花園中学校（大阪） — 門川中学校（宮崎）



〈先頭打者ホームランの東野君〉



〈投打に頑張った尾形君〉

平成30年8月日（土） 8:57 ~ 11:24

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
花園中	4	0	0	0	0	0	0	0	1	5
門川中	2	0	2	0	0	0	0	0	1	6

【バッテリー】 〈先攻〉 善遼太郎、東野洋平、善遼太郎、東野洋平、善遼太郎● — 福田瑛士

〈後攻〉 尾形大和○ — 濱田由都

【長打】 〈本塁打〉 東野洋平（花園）

〈三塁打〉

〈二塁打〉 福田瑛士（花園）

【戦評】

タイブレークに突入した接戦を、7番金丸のサヨナラヒットで門川中が制した。門川中の先発・尾形は、初回に4点を失うものの、その後は尻上がりに調子を取り上げ、2回以降は3安打1失点で完投した。攻撃では、1回裏に無死満塁から4番の尾形のセンター前ヒットで2点を、3回裏にも連続四球から無死満塁のチャンスを作り、守備のミスから2点を返すなど、粘り強く得点し、勝利に結びつけた。花園中は初回に先頭打者ホームランから始まり、安打5本を集中し一気に4点を奪うものの、その後は打線が繋がらなかった。

【勝者インタビュー】

監督談（門川中：芳野弘樹監督）

初回に4点先制され厳しい試合展開であったが、子どもたちが全く諦めていなかったのでチャンスはあると思っていた。走塁ミスも多く、タイブレークになり手づまり感もあったが勝ててほっとしている。ピッチャーの尾形がよくがんばった。

主将談（門川中：濱田由都）

昨年の全中で負けた相手チームにリベンジできた。初回4失点で苦し立ち上がりであったが、チームのみんなの気持ちが一つになって同点に追いつき、最後、サヨナラ勝ちができた。みんなで勝ち取った勝利が、大変嬉しい。

重ねた努力 流した汗 光り輝け 中国の地で